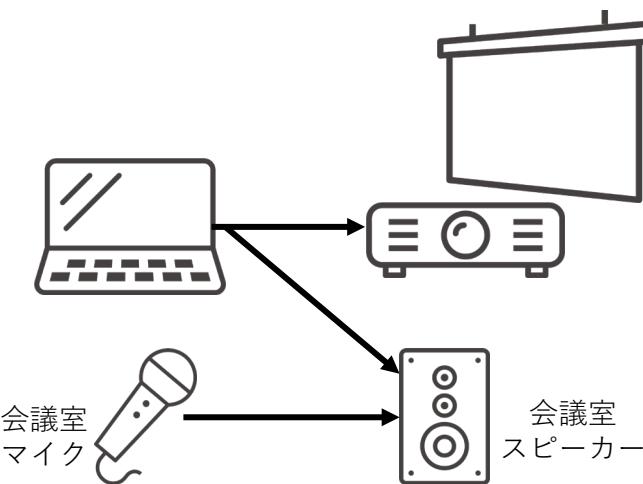


オンライン会議 (配信しない)



オンライン会議 (一人一部屋)

自分側

- スライドは画面共有
- PCのマイクに向かって話す
- 相手の声はPCのスピーカーから聞こえる



相手側

- スライドは画面共有
- PCのマイクに向かって話す
- 相手の声はPCのスピーカーから聞こえる

オンライン会議 (こちら側は数人の参加者)

自分側

外付けのマイクやスピーカーを設置し、音声を共有する



複数の人間が画面を見るように、モニターに映し出す

- Zoom共有画面を外付けモニター等に映し出す。
- 外付けマイクに向かって話をする
- 外付けスピーカーから相手の声が聞こえる

※部屋に複数人がいてもスライドと音声が共有できる

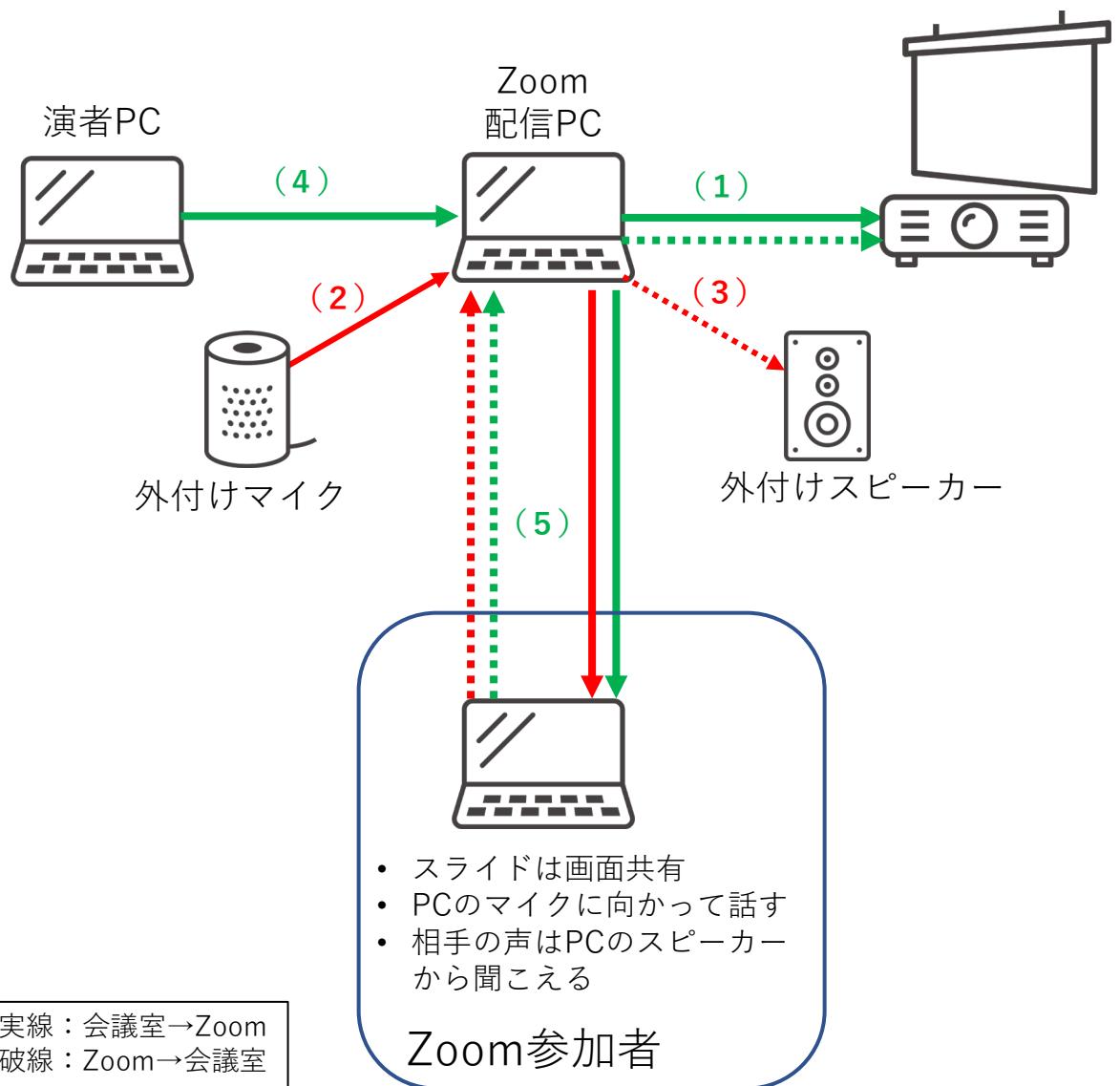
ポイント：
一つの部屋で、複数のPCをZoomに接続して会議を行うと、隣り合ったPCの間での音声のハウリングが生じる。

それを回避する方法の一つは、Zoomに接続するPCを1台にして、音声と画面を共有する。

欠点：
こちら側で複数人が発表するときに、複数のスライドを同じPCに保存する必要がある。

ポイント：
演者が複数ならば、演者ごとにPCを繋ぎ変えれば良い。
また、PCと会場の音響機器をHDMI接続することで、PCの音声を会場に流すことができる。

ハイブリッド会議 (外付けマイク＆スピーカー利用)



ポイント：

- Zoom配信PCを、会議室内にあるプロジェクターに接続（1）、外付けマイクに接続（2）、外付けスピーカーに接続（3）する。
- 演者PCはZoomに接続し、スライドを画面共有（4）する。
- ただし、演者PCのマイクとスピーカーはOFFにする。演者は外付けマイクに向かって話をする（2）。
- Zoom参加者は、通常のZoom会議のように、スライド共有とトークを行う（5）。

これにより、

- ① 会議室の演者のスライドは、Zoom配信PCを介して会議室スクリーンに投影されるとともに、Zoomを介してZoom参加者に共有される。（緑の実線）
- ② 会議室の演者の声は、外付けマイクで拾い、Zoomを介してZoom参加者のもとに届く。（赤の実線）
- ③ Zoom参加者のスライドは、Zoomを経由し、Zoom配信PCを介して会議室スクリーンに投影される。（緑の破線）
- ④ Zoom参加者の声は、Zoomを経由し、Zoom配信PCを介して外付けスピーカーから会議室内に配信される。（赤の破線）

※演者が複数でも、各自のPCを使ったプレゼンが可能となる。

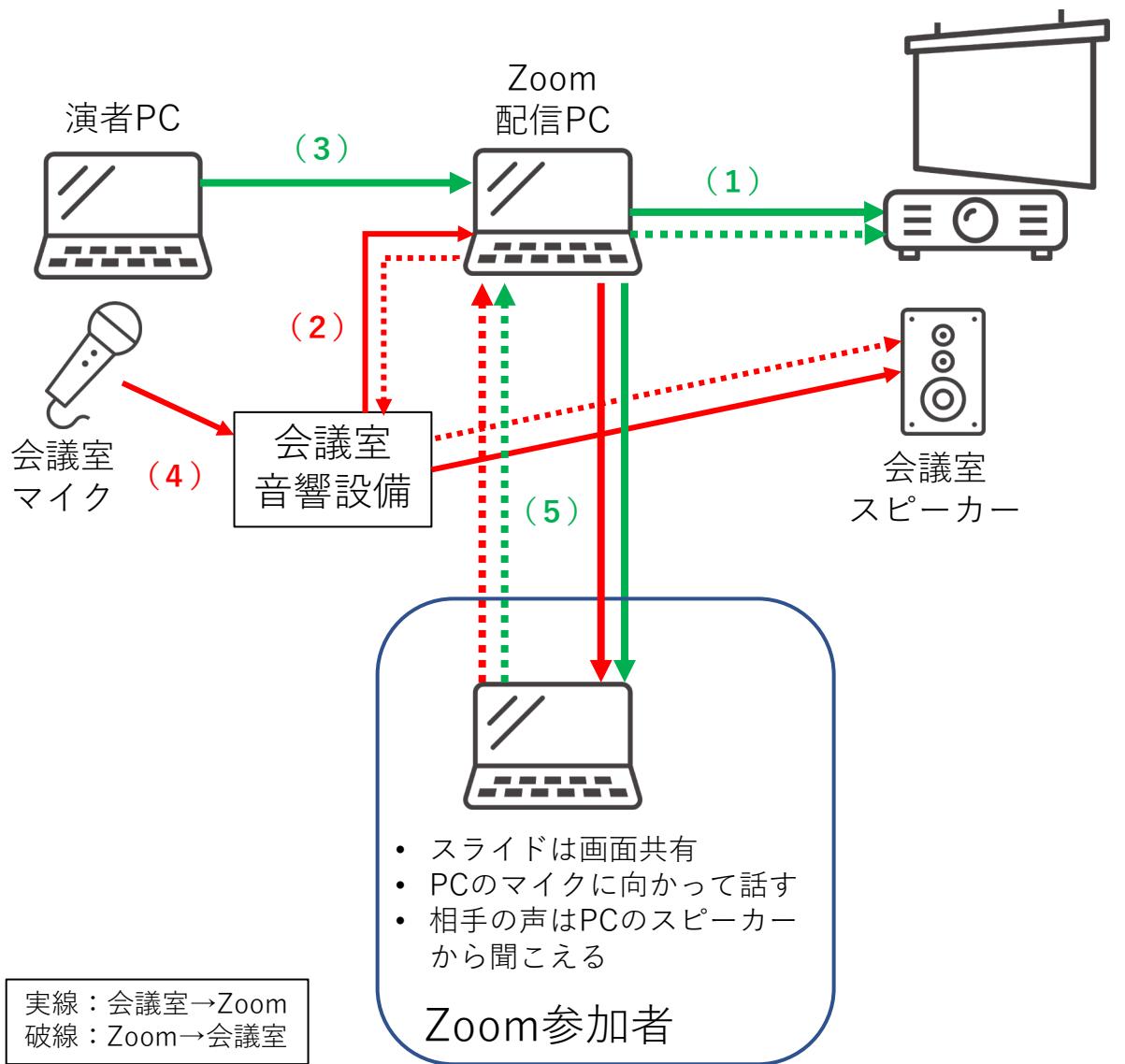
注意点：

外付けマイクについては、指向性や集音する範囲の特性があるので、その点を注意して会場設営を行う。

Zoom配信PCの設定で、外付けマイクとスピーカーを音声入力・出力機器として選択する。

会場内で演者以外の参加者がZoomに接続する際には、必ず、マイクとスピーカーはOFFにすること（ハウリング対策）

ハイブリッド会議 (会議室の音響設備利用)



ポイント :

- Zoom配信PCを、会議室内にあるプロジェクターに接続（1）、会議室音響設備に「双方向で音声が流れるように」接続（2）する。
- 演者PCはZoomに接続し、スライドを画面共有（3）する。
- ただし、演者PCのマイクとスピーカーはOFFにする。演者は会議室のマイクを使って話をする（4）。
- Zoom参加者は、通常のZoom会議のように、スライド共有とトーカーを行う（5）。

これにより、

- ① 会議室の演者のスライドは、Zoom配信PCを介して会議室スクリーンに投影されるとともに、Zoomを介してZoom参加者に共有される。（緑の実線）
- ② 会議室の演者の声は会議室のマイクで拾い、音響設備を介して会議室スピーカーから配信されるとともに、Zoomを介してZoom参加者のもとに届く。（赤の実線）
- ③ Zoom参加者のスライドは、Zoomを経由し、Zoom配信PCを介して会場スクリーンに投影される。（緑の破線）
- ④ Zoom参加者の声は、Zoomを経由し、Zoom配信PCと音響設備を介して会議室スピーカーから配信される。（赤の破線）

※演者が複数でも、各自のPCを使ったプレゼンが可能となる。

注意点 :

会議室音響設備からZoom配信PC方向に音声を配信するための接続には、音響設備からの配信を分岐させるための「いくつかのアダプター」が必要になるため、施設担当者などとの協議が必要。

Zoom配信PCから会議室音響設備方向への音声配信は、通常ならば、HDMI接続により可能となる。

Zoom配信PCの設定で、会議室マイクとスピーカーを音声入力・出力機器として選択する。

会場内で演者以外の参加者がZoomに接続する際には、必ず、マイクとスピーカーはOFFにすること（ハウリング対策）